

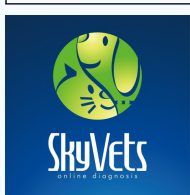
読影レポート

患者ID	0000	診断書ID	0000
飼主名	テスト タロウ	病院名	スカイベッツ動物病院
動物名	ジロウ		
動物種	イヌ		
品種	柴犬	担当医	スカイベッツ タロウ
生年月日	2000/01/01	性別	メス（避妊）
依頼日時	2010/01/01	年齢	10歳0ヵ月

所見	左右肺野に多発性結節（赤矢印）を認める。肝臓外側左葉および内側左葉は高度に右腹側へ変位し、その中央部にW220mm×H117mmの孤立性腫瘍（赤＊）が認められる。腫瘍内部は単純CTにおいてやや不均一な低～等吸収を示し、造影CTでは動脈相～平衡像を通じて不均一かつ軽度の造影増強効果を示している。肝臓内側右葉、外側右葉および尾状葉尾状突起に最大24mmの造影増強効果に乏しい結節が3個認められる（青＊）。右副腎（最大厚24.1mm）および左副腎（最大厚20.5mm）が全体的に腫大している。左肝リンパ節（W19.8mm×H17.3mm）および左腎リンパ節（W36.3mm×H26.4mm）が腫大している。左鼠径リンパ節が腫大・円形化し（W25.6mm×H18.0mm）、造影CTにおいて不均一な造影増強効果を示している。右腰背部の皮下に周囲の脂肪濃度の上昇を伴うW21.4mm×H11.8mmの孤立性結節（緑＊）を認める。		
----	---	--	--

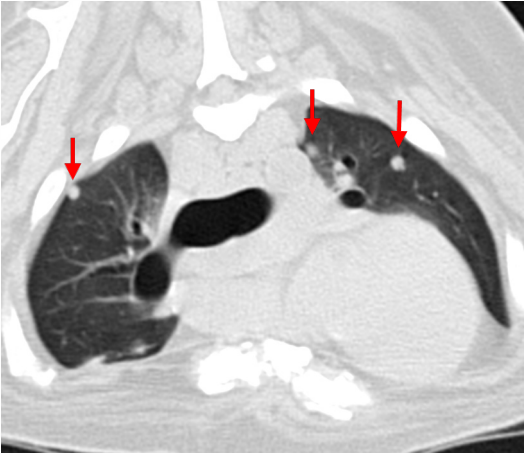
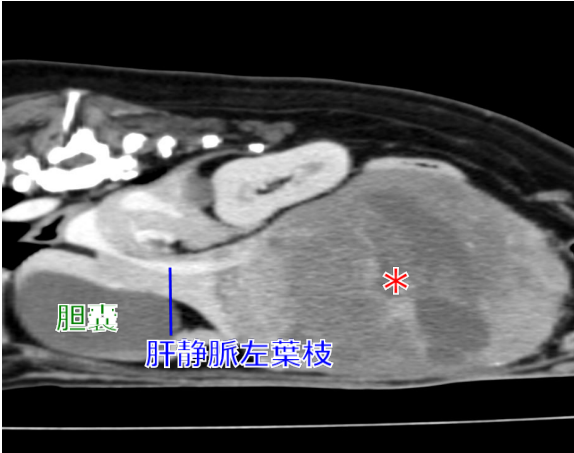
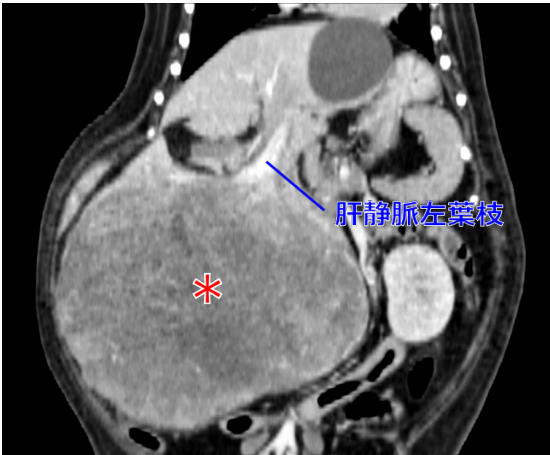
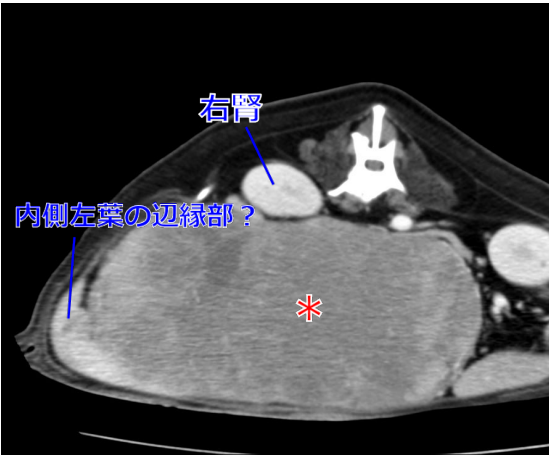
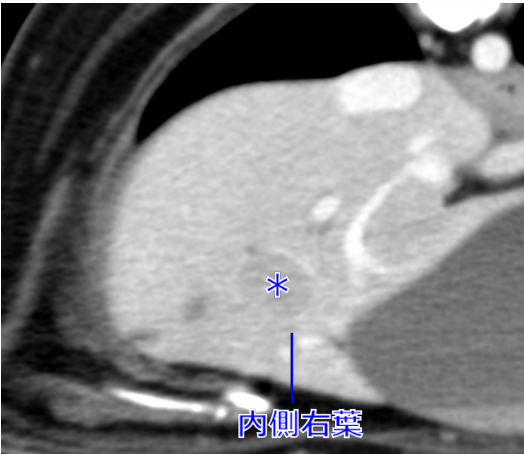
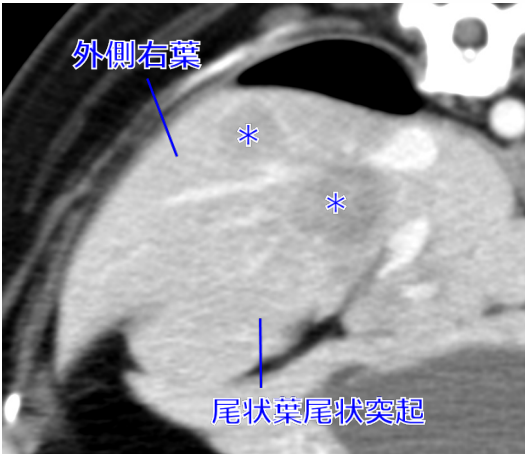
診断・コメント	1)肺野の多発性結節：乳腺癌の肺転移を強く疑う 2)左鼠径リンパ節：乳腺癌のリンパ節転移（診断済み） 上記1および2について、いずれも乳腺癌の転移が強く疑われます。 3)肝臓左葉の孤立性腫瘍：肝細胞癌疑い（細胞診済み） 肝細胞癌と矛盾しない所見です。肝臓左葉の著しい右腹側変位のため、腫瘍の発生部位を明確に特定することは困難ですが、腫瘍は主として外側左葉に位置しており、内側左葉との境界に近接していることから、外側左葉と内側左葉の一括切除が必要となる可能性があります。脾臓および撮影範囲内のその他の領域に低血糖の原因となり得る異常所見は認められません。 4)肝臓内側右葉／外側右葉／尾状突起の多発性結節：転移性腫瘍、結節性過形成、原発性腫瘍 5)左肝／左腎リンパ節腫大：リンパ節転移、反応性過形成、リンパ腫 上記4および5について、いずれも乳腺癌あるいは肝臓腫瘍のリンパ節転移の可能性があります。 6)副腎腫大（左右対称性／重度）：両側性腫瘍または過形成 両側性の副腎皮質腺腫もしくは過形成が示唆されます。病変は副腎に局限しており、血管内浸潤は認められません。		
---------	--	--	--

下記はご依頼内容および現在の臨床症状との関連性や現時点での臨床的意義の低い偶発所見と考えられることから、診断名の記載のみとさせていただきます。詳細な所見やコメントが必要な際には、お手数ですが診断医にご連絡ください。（記載時のみ） 右腰背部の皮下結節：結節性脂肪壊死、感染・炎症を伴う脂肪腫			
--	--	--	--

	診断医		診断医 小野 晋, DVM, PhD shin-ono@sky-vets.com 05036286999

株式会社スカイベッツ 代表取締役 小野 晋
〒206-0812東京都稲城市矢野口2958-4 <http://sky-vets.com>

株式会社スカイベッツ

患者ID	0000	動物名	ジロウ
所見画像			
			
			
			

患者ID	0000	動物名	ジロウ
所見画像			
